

下記の個所に誤りがございましたので訂正致します。ご迷惑をお掛けしましたこと深くお詫び申し上げます。



- 11頁 e . 色の表示方法 (表内右下)
N 5.5/ (R3.0) N 5.5/ (R0.3)
- 44頁 ISCC-NBS 色名法
1995年に発表された色名法 1955年に発表された色名法
- 59頁 Exercise2 D ダークイズブルー ターコイズブルー
E カーキ カーキー
- 79頁・80頁・96頁 テクチャー、テクチュアー テクスチャー
- 107頁 マクスウェル マックスウェル
- 127頁 B 色彩の感情効果 【軽・重】【明度】【内容】
高明度・柔らかく感じる(トーンでは…柔らかく感じる) 軽く感じる(トーンでは…軽く感じる)
低明度・硬く感じる(トーンでは…硬く感じる) 重く感じる(トーンでは…重く感じる)
* 暖色系の方が少し柔らかく、寒色系の方がやや硬い印象となる
【硬・軟】【明度】の【内容】のところに移動
- 157頁 C トーンを基準にした配色 【対照トーン配色】【トーン差】
ダルトーン配色をつくることができない
ダルトーンを使って対照トーン配色をつくることができない
- 160頁 (表内) 【同明度領域】【同一色相による関係】
(ただし、6:yO、8:Y、10Gy 以外の場合) (ただし、6:yO、8:Y、10YG 以外の場合)
- 163頁 b . セパレーション
主に無彩色を用いるほか 主に無彩色や彩度のあまり高くない色を用いるほか
- 200頁 b . 配色の方向性 (表内)
対象トーン配色 対照トーン配色